

製品名: リン酸化 RAF1 (Ser43) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87671**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000 |
| 分子量 | Calculated MW:73 kDa; Observed MW:73 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--------------------------------------|
| 遺伝子名 | Phospho-RAF1 |
| 別名 | NS5; CRAF; Raf-1; c-Raf; CMD1NN |
| 遺伝子 ID | 5894, 110157, 24703 |
| SwissProt ID | P04049, Q99N57, P11345 |
| 免疫原 | ヒト RAF1 の Ser43 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド |

背景

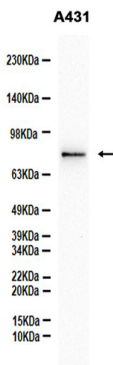
この遺伝子は、ウイルス性 raf 遺伝子 (v-raf) の細胞ホモログです。コードされているタンパク質は MAP キナーゼキナーゼキナーゼ

(MAP3K) であり、膜結合型 GTPase である Ras ファミリーの下流で機能し、この Ras ファミリーに直接結合します。活性化されると、細胞内の RAF1 タンパク質はリン酸化され、二重特異性タンパク質キナーゼである MEK1 および MEK2 を活性化します。MEK1 および MEK2 は、さらにリン酸化され、セリン/スレオニン特異的タンパク質キナーゼである ERK1 および ERK2 を活性化します。活性化 ERK は細胞生理学における多面的エフェクターであり、細胞分裂周期、アポトーシス、細胞分化、細胞遊走に関わる遺伝子発現の制御において重要な役割を果たします。この遺伝子の変異は、ヌーナン症候群 5 および LEOPARD 症候群 2 と関連しています。
[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



1:1000 の Phospho-RAF1 (Ser43) ウサギモノクローナル抗体を使用した A431 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。